

CONTENTS

□ 第 60 回通常総会開催	1
□ ごあいさつ（水土里ネットさいたま 柴田忠雄）.....	2
□ 土地改良事業功労者表彰状受賞者	3
□ 土地改良事業推進協力感謝状受賞者	3
□ 決議	4
□ 全国水土里ネット第 59 回通常総会及び表彰式開催	5
□ 平成 28 年度第 4 回理事会・第 5 回監事会開催	6
□ 土地改良区理事・監事・職員並びに市町村担当職員等研修会開催	6
□ 関東農地集団化推進協議会第 64 回通常総会開催	7
□ 平成 28 年度 換地処分実務研修会開催	7
□ 大里土地改良推進協議会平成 28 年度先進地視察研修会開催	8
□ 加須土地改良推進協議会平成 28 年度土地改良事業視察研修会開催	8
□ 土地改良団体の男女共同参画の推進に係る意見交換会 ..	9
□ 埼玉県農村整備課関係人事異動	11
□ 平成 29 年度本会機構図	12
□ 平成 29 年度本会職員配置図	13
□ 新規職員の紹介	14
□ 農業基盤整備資金の金利改定について	14
□ 連合会日誌	14
□ 第 5 回フォトコンテスト応募作品募集	15

埼玉の土地改良

田植え（皆野町）



第60回通常総会開催

水土里ネットさいたま（柴田忠雄会長）の第60回通常総会が去る3月21日、埼玉県県民健康センター大ホールにおいて、石田 寿農林水産省関東農政局長、松村一郎埼玉県農林部副部長、和山輝徳農林水産省関東農政局農村振興部土地改良管理課長、大図早孝埼玉県農林部農村整備課長など多くの来賓の方々ご臨席のもと盛大に開催された。

吉田昇副会長の開会の辞に始まり、柴田忠雄会長のあいさつ（別記）、来賓の方々の紹介とご祝辞の後に、二階俊博全国水土里ネット会長、新藤金日子参議院議員・全国水土里ネット会長会議顧問、宮崎栄治郎県議会議長からの祝電が披露された。

続いて、土地改良事業功労者表彰並びに土地改良事業推進協力感謝状が柴田会長から25名（別記）に贈呈された。

議事は、議長に金子正夫西吉見南部土地改良区理事長が選任され、平成27年度事業報告及び収支決算、平成28年度収支補正予算、平成29年度経費の賦課及び徴収方法並びに受託料の基準、同役員報酬等、同事業計画及び収支予算、同一時借入金の限度額及び借入方法並びに余裕金、積立金の預入先、役員の選任の7件議案を審議し、原案のとおり全会一致で承認可決された。

なお、役員の補欠選任については、

理 事 川合 善明 氏（川越市長）

理 事 内田 光夫 氏（荒川右岸用排水土地改良区理事長）

お二方が選任された。

最後に決議文が朗読され、満場一致で採択し、正能輝夫理事の閉会の辞により盛会裡に終了した。



◆柴田会長あいさつ



◆石田関東農政局長の祝辞

ごあいさつ

水土里ネットさいたま
埼玉県土地改良事業団体連合会
会 長 柴 田 忠 雄

第60回通常総会の開催にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。会員の皆様には、大変お忙しい中、多数御出席をいただき、このように盛大に総会が開催できますことを感謝申し上げます。また、日頃から本会の運営について、御指導をいただいております、農林水産省関東農政局長 石田様、埼玉県農林部副部長 松村様をはじめ、御来賓の皆様にも、年度末で公務御多用の中、御臨席をいただいております。誠にありがとうございます。

さて、会員の皆様におかれましては、農業水利施設の老朽化、組合員の高齢化、土地持ち非農家の増加、担い手への集積に伴う水利用の変化など、多くの課題に直面し、運営に苦勞されていることと思います。国では、農業・農村を取り巻く情勢が大きく変化したことから、昨年8月に「土地改良長期計画」を閣議決定し、産業政策としての「豊で競争力のある農業」、地域政策としての「美しく活力ある農村」、この土台としての「強くてしなやかな農業・農村」を掲げ、各種施策を計画的に推進することとしています。また、今国会に、土地改良法の改正案が提出されております。農地中間管理機構が借り入れている農地の整備、ため池等の耐震化、突発的事故対応など農用地の利用集積、防災・減災対策の強化等が円滑に進められるよう改正すると伺っております。

次に、土地改良関係の予算について触れさせていただきます。平成22年度に、国の農業農村整備関係予算が大幅に削減されてから7年が過ぎようとしています。皆様の中にも、予定していた事業が実施できず、施設の維持管理等に支障が生じているところがあると思います。全国各地で、このような状況が顕在化していることから、今年度は、各都道府県が従来に増して強力な要請活動を展開してまいりました。本県でも県と連携し、農林水産省をはじめ、財務省、国会議員等に現場の窮状を訴え予算確保をお願いしてまいりました。29年度予算につきましては、現在国会で審議中でございますが、政府案は4,020億円となっております。国の公共事業予算の総枠が伸びない中で農業農村整備事業は対前年比4.1%の増額となっております。これに、昨年秋の2次補正分1,752億円を合わせますと、21年度当初予算と同額の5,772億円になる見込です。また、県の予算につきましては、現在県議会において審議中でございますが、土地改良施設維持管理適正化事業や県費単独事業など農業基盤関係予算の大幅な増額が見込まれております。これも、現場の切実な声が行政機関や議会に届けられたこと、さらに、昨年夏の参議院選挙において、皆様の力強い御支援により我々の代表を国政の場に送り込むことが出来た結果と思います。改めてお礼を申し上げます。しかし、当初予算だけを見ますと、平成21年度の7割程度に止まっています。まだまだ十分な予算とは言えません。計画的に事業を進める上で、当初予算の安定確保が不可欠でございます。施設の維持管理をはじめ、本県農業の振興に必要な事業が計画的に進められるよう、あらゆる機会をとらえて、関係機関に当初予算の増額を要請してまいります。引き続き、皆様の御協力をお願い申し上げます。

次に、本会の運営状況でございます。国の農業農村整備事業関係予算が依然回復しないことや農業集落排水事業をはじめとする団体営事業の新規地区が減少したことなどにより、収入の柱である受託収入が減少したまま、回復しておりません。このため、平成27年度は、基金から2千万円を取り崩し、運営費に充当させていただきました。28年度につきましても、同じような状況が続いておりますので、1千万円を取り崩し、運営費に充当させていただきたいと存じます。29年度につきましては、国や県の予算は増えますが、現時点で見込める本会の受託収入は、若干の増額に止まっておりますので、誠に恐縮ですが、4千万円の取り崩しを計上させていただきました。会長就任以来、経営改善に向け、勧奨退職による人員削減、ボーナスのカットなど支出の縮減を図るとともに、業務受託による収入確保に努めておりますが、依然厳しい状況が続いております。皆様には現状を御理解いただきたいと存じます。また、本会の一層の活用について特段の御配慮をいただきますよう併せてお願い申し上げます。

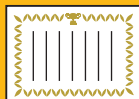
本日はこの後、永年にわたり、本県農業農村整備事業の推進に御尽力された皆様の功績をたたえて、表彰状・感謝状を贈呈し、敬意と感謝の意を表したいと存じます。また、御審議をいただきます議案は、「平成27年度 事業報告及び収支決算」「平成28年度 収支補正予算」「平成29年度 事業計画及び収支予算」並びに、「役員の補欠選任」等7議案でございます。慎重審議のうえ、議決をいただきますようお願いいたします。農業・農村を取り巻く環境は、依然厳しい状況にありますが、皆様と共にこの困難を乗り越えて、埼玉農業の発展に貢献してまいり所存でございますので、一層の御理解と御協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。結びにあたり、会員の益々の御発展と皆様の御健勝を祈念いたしましてあいさつといたします。



土地改良事業功労者表彰状受賞者

〈順不同・敬称略〉

支 所	所 属	役 職	氏 名	支 所	所 属	役 職	氏 名
さいたま	見沼代用水土地改良区	理 事	赤沼照男	本 庄	本庄北部土地改良区	副理事長	山田福一
	足立北部土地改良区	前総括監事	佐藤 繁	大 里	備前渠用水路土地改良区	理 事 長	高田博之
	足立北部土地改良区	前機関士	新井 稔		荒川中部土地改良区	前 理 事	木島玉重郎
	平方土地改良区	前事務局員	嶋津敏行	加 須	青毛堀用悪水路土地改良区	所 長	加藤 一
川 越	入西北部土地改良区	樋管操作人	三田文雄		元荒川上流土地改良区	工務課長	遠藤修治
	富士見市産業振興課	副 課 長	村木保之		加須市上下水道部下水道課	主 査	梓澤政史
東松山	大岡第一土地改良区	理 事 長	藤野一男	春日部	葛西用水路土地改良区	主 任	須賀香寿美
	山田土地改良区	理 事 長	鈴木義友		江ヶ崎・実ヶ谷土地改良区	理 事 長	新井孝作
秩 父	尾田蒔土地改良区	事務職員	長島裕子	計			17名



土地改良事業推進協力感謝状受賞者

〈順不同・敬称略〉

支 所	所 属	役 職	氏 名	支 所	所 属	役 職	氏 名
さいたま	鴻巣市箕田土地改良区	事務職員	中越久美子	本 庄	上里町産業振興課	課 長	南雲定夫
川 越	狭山市環境経済部農業振興課	主 査	久保田佳則	大 里	深谷市環境水道部下水道工務課	係 長	秋葉芳広
東松山	吉見町水生活課	課 長	金子俊一	加 須	羽生市経済環境部農政課	主 任	黒澤光明
秩 父	秩父市環境部下水道課	課 長	浅賀照夫	春日部	八条用水路土地改良区	所 長	斎藤由紀
計							8名



決 議

農村では、都市部に先駆け高齢化や人口減少が進んでおり、農業従事者の高齢化、減少等による農地の荒廃や、担い手不足等による農地、農業用水等の管理や営農の継続への影響など、様々な影響をもたらすことが想定される。

農業を、次世代の担い手にとって魅力ある産業としていくためには、農地の集積集約、農地の大区画化、汎用化等の農地の整備や将来を見越した適時適切な農業水利施設等の維持・更新が必要となっている。加えて、ため池を含む農業水利施設等の老朽化が進行する中、大規模地震や気候変動による豪雨災害が多発しており、住民の生命と財産を守るためにも、ため池等の耐震化や洪水被害防止対策などの農村地域の防災・減災対策の推進が重要な課題となっている。

水土里ネットは、力強い農業の実現等を通じた食料の安定供給や農業・農村の多面的機能を発揮させるため、先人達のたゆまぬ努力により維持・活用されてきた農地・農業用水等の地域資源を良好な状態で次世代に継承していく責務がある。

この責務の遂行に不可欠な農業農村整備予算は、昨年、「闘う土地改良」の旗印の下、組織を挙げて様々な活動を行った結果、平成 28 年度補正予算と平成 29 年度当初予算を合わせて 5,772 億円を確保し、大幅削減前の水準を実現することが出来た。それでも、当初予算は大幅削減前の 7 割に留まっており、引き続き、当初予算の回復を要求していく必要がある。

政府は昨年 8 月に新たな「土地改良長期計画」を閣議決定し、11 月には「農林水産業・地域の活力創造プラン」を改訂するなど各種施策に積極的に取り組んでいるところである。水土里ネットは、農業・農村、更には、我々自身が抱える課題をも直視し、国が示した農政の方向を踏まえ、女性の能力も活用しつつ積極的な貢献を果たしていく覚悟である。

以上のことを踏まえ、ここに参集した同志が「闘う土地改良」の旗印の下に、一致団結して、次の事項の実現を図り、農業農村整備を推進していくことを総会の名において決議する。

記

- 一、土地改良関係予算を可及的速やかに平成 21 年度の水準に復活すること。特に、安定的・計画的な事業執行のために、米の直接支払交付金が廃止される平成 30 年度当初予算においては、現場のニーズに十分応えられる規模の農業農村整備予算を確保すること。
- 二、農地中間管理機構と連携した農業者の費用負担や同意を求めないほ場整備事業や、ため池等の耐震化を急速に進める事業の創設、また、機能向上を伴う施設更新の事業手続きの簡素化等を盛り込んだ土地改良法等の改正を速やかに進めること。
特に、農地中間管理機構と連携したほ場整備の実施に当たっては、水土里ネットが有する技術、経験、水土里情報システムなど持てる能力が十分発揮できるよう配慮すること。
- 三、担い手への農地集積、生産コストの低減、高収益作物の生産等、農業の構造改革を加速化するため、農地の大区画化、水田の汎用化、畑地化、畑地・樹園地の高機能化等の対策を一層推進すること。その際、中山間地域等においても、農業経営の持続的発展に向けて、地域特性を踏まえた基盤の整備が可能となるよう十分配慮すること。
- 四、巨大地震への備えとして、農村地域の強靱化に資するよう、ため池を含む老朽化した農業水利施設等の機能向上を含む更新・長寿命化や、耐震化、洪水被害防止対策等の防災・減災対策を、国が責任を持って着実に推進すること。
- 五、これまで水土里ネットでは、地域の合意形成や共同管理を通じて「農村協働力」を強化し、農村の地域資源を支えてきた。このため、多面的機能支払制度による農地や水路、農道等の保全活動の推進に当たっては、十分な予算の確保を図るとともに、水土里ネットが有する技術、経験など持てる能力を十分活用し、制度の効率的・効果的な推進を図ること。
- 六、構造改革の推進による組合員の減少や電力料金の値上げなど、水土里ネットの運営基盤が大きく揺らいでいる中、今後とも担い手等の求める高度な施設の維持管理が行えるよう、地域資源を有効に活用した小水力発電等による施設の維持管理費の軽減など、水土里ネットの運営基盤を強化する取組を推進すること。

平成 29 年 3 月 21 日

埼玉県土地改良事業団体連合会 第 60 回通常総会

全土連第59回通常総会開催

全国土地改良事業団体連合会（二階俊博会長）では、去る3月24日、東京都千代田区平河町「都市センターホテル」において第59回通常総会が開催された。

附議された議案は、平成27年度事業追加報告、同収入支出決算、平成28年度事業中間報告、同収入支出補正予算、平成28年度平準化利子補給積立金特別会計収入支出補正予算、平成29年度事業計画、同収入支出予算、同平準化利子補給積立金特別会計収入支出予算、同経費の賦課、役員の報酬、一時借入金、理事の補欠選任等12件の議案を審議し、全会一致で原案のとおり承認可決された。

続いて、砂防会館別館「シェーンバッハ・サボー」において「第58回全国土地改良功労者並びに農業農村整備優良地区コンクール等表彰式」が盛大に挙行された。なお、埼玉県内の表彰者は以下のとおりです。



＝ 土地改良功労者表彰 ＝

◇ 団体表彰の部 ◇

金 章

三田ヶ谷土地改良区（理事長 奥澤 恒夫 氏）

銀 章

嵐山中部土地改良区（理事長 初雁 秀男 氏）

銅 章

笠原土地改良区（理事長 藤村 正彦 氏）

◇ 個人表彰の部 ◇

島澤 孝雄 氏

（元荒川上流土地改良区所長）

岩崎 政行 氏

（見沼代用水土地改良区総務部次長）

秋山 岩男 氏

（埼玉北部土地改良区連合次長）

齋藤 治夫 氏

（葛西用水路土地改良区事務次長）



平成28年度 第4回理事会・第5回監事会開催

埼玉県土地改良事業団体連合会は、平成28年度第4回理事会を3月7日本会大会議室に於いて開催した。

附議事項の

- 議案第1号 平成28年度収支補正予算（案）について
 - 議案第2号 埼玉県土地改良事業団体連合会人事規程の一部改正について、
 - 議案第3号 第60回通常総会の招集について、
 - 議案第4号 第60回通常総会の提出議案について、
 - 議案第5号 土地改良事業功労者表彰及び感謝状贈呈者の選考について、
- は慎重審議し全員異議なく可決決定された。

なお、報告事項として平成28年度収支状況等が報告された。

また、当日理事会に先立ち、本年度第5回監事会が同所中会議室において開催された。

附議事項の

- 議案第1号 平成28年度収支補正予算（案）について、を原案どおり、可決決定した。

土地改良区理事、監事、職員 並びに市町村担当職員等研修会 開催

各土地改良推進協議会では、平成29年3月1日（水）鴻巣市の鴻巣市文化センター（クレアこうのす）小ホールにおいて、標記研修会を合同開催しました。

この研修は、土地改良区役職員、市町村担当職員等を対象に、土地改良区の運営や農業農村整備事業への理解を深めることを目的に、県内8土地改良推進協議会（さいたま・川越・東松山・秩父・本庄・大里・加須・春日部土地改良推進協議会）の合同で開催されたものです。（出席者198名）

研修内容は下記のとおりです。

①『平成29年度農業農村整備事業関係予算と土地改良制度の見直しについて』

講 師：農林水産省関東農政局農村振興部設計課事業調整室室長 松原 雄介 氏

②『平成29年度農林部当初予算案の概要について』

講 師：埼玉県農林部農村整備課水利調整・施設管理担当主査 橋本 敦 氏

③『土地改良区と役員の責務について』

講 師：農林水産省関東農政局農村振興部土地改良管理課団体指導・資金係長 五味田清之 氏



◆田嶋常務理事挨拶



◆松原室長の講義

関東農地集団化推進協議会第64回通常総会開催

関東農地集団化推進協議会(会長 大久保寿夫)では、去る3月28日東京都・都道府県会館において第64回通常総会及び平成28年度関東農地集団化推進協議会長表彰者に対する表彰式を開催した。

総会は、栃木県土連大久保会長代理穂野和人専務理事から挨拶があった後、来賓の全国土地改良事業団体連合会中央換地センター浦山正四所長の挨拶を頂き、引き続き穂野専務理事を議長として議事に入った。

議 事

- 第1号議案 平成27年度事業報告について
- 第2号議案 平成27年度収支決算の報告について
- 第3号議案 平成29年度事業計画(案)について
- 第4号議案 平成29年度収支予算(案)について
- 第5号議案 平成29年度負担金及び納入期限(案)について
- 第6号議案 次期当番県(案)について
- 第7号議案 役員の選任(案)について

以上各議案は、全て原案の通り承認、可決された。

なお、次期当番県については埼玉県に決定され、総会は終了した。

換地及び交換分合の推進に貢献した団体の役員及び職員に送られる関東農地集団化推進協議会長表彰の表彰式が行われ、6名の方が受賞した。本県では、山田土地改良区理事長鈴木義友氏がこの賞の栄に輝いた。

最後に中央換地センター浦山正四所長の祝辞があり盛会の内に閉会となった。(参加者21名)



平成28年度 換地処分実務研修会開催

埼玉県土地改良事業団体連合会は、平成29年2月28日(火)さいたま市の大宮ソニックシティ601号室において、標記研修会を開催しました。

参加者は土地改良換地士その他換地事務を担当している県・市町村・土地改良区の役職員及び換地技術者等の出席で、熱心に研修し盛況裡に終了しました。

研修内容は下記のとおりです。(参加者22名)

『確定測量について』

講 師：埼玉県測量設計業協会 副会長 笠原 俊也 氏

『換地原案作成について』

講 師：群馬県土地改良事業団体連合会 調査・換地課 換地チーフ係長 内山 剛直 氏



大里土地改良推進協議会 平成28年度先進地視察研修会 開催

大里土地改良推進協議会(会長 富岡 清)では、土地改良事業の理解を深め、先進的な活動事例を視察するため、平成29年1月27日(金)に会員及び県担当職員の参加の下、先進地視察研修会を実施しました。視察場所及び内容は下記のとおりです。(出席者41名)

- ◆視察場所 芳賀台地土地改良区(栃木県市貝町)
 - ・土地改良区の概要について
 - ・国営かんがい排水事業【芳賀台地地区】について
 - ・森田頭首工の維持管理と問題点について
- ◆視察場所 ドンカメ堆肥センター(栃木県芳賀町)
 - ・資源循環システムの取り組みについて



◆改良区の概要



◆堆肥センター視察

加須土地改良推進協議会 平成28年度土地改良事業視察研修会 開催

加須土地改良推進協議会(会長 大橋 良一)では、農業農村整備事業の先進的な活動事例等を視察するため、平成29年1月18日(水)会員及び県担当職員の参加の下、事業視察研修会を実施しました。視察場所及び内容は下記のとおりです。(出席者30名)

- ◆視察場所 JA 全農 営農・技術センター(神奈川県平塚市)
 - ・センターの概要及び役割について
 - ・残留農薬検査室で実施している検査・分析について
- ◆視察場所 大田地区土地改良区(神奈川県伊勢原市)
 - ・土地改良区の概要及び維持管理について
 - ・多面的機能支払交付金の取り組みについて
 - ・太陽光発電事業の申請等について



◆各種試験状況の説明



◆大田地区の現地視察

土地改良団体の男女共同参画の推進に係る意見交換会について ～農村の土地と水を次世代へつなぐ女性たちとの意見交換会・女性が輝く農業農村～

1. 趣 旨

農村地域において、営農に欠かすことのできない大切な農業生産基盤を、地域資産として、地域ぐるみで維持管理を行う必要性が高まっている。そのためには、女性をはじめとした多様な人材が土地改良区が行う事業に参画することが重要である。

このため、管内の土地改良区の女性の役職員及び総代と国の職員と、男女共同参画の意識啓発のための意見交換を行った。

本県からは、上里土地改良区理事 宇田川良重 氏、総代 小林 加代子 氏のお二方が発言者として参加した。

2. 日時及び場所

平成 29 年 1 月 13 日（金） 14 時 30 分から 17 時まで

さいたま新都心合同庁舎 2 号館 11 階 防災対策室

3. 出席者

- ・市貝町土地改良区（栃木県）副理事長 いちかいまち 上山貴代子 氏 かみやまきよこ
- ・小山水土地改良区（栃木県）事務局長 おやまようすい 石川房代 氏 いしかわふさよ
- ・上里土地改良区（埼玉県）理事 かみさと 宇田川良重 氏 うだがわよしえ
- ・上里土地改良区（埼玉県）総代 かみさと 小林加代子 氏 こばやしかよこ
- ・全国土地改良事業団体連合会 専務理事 なかじょうやすろう 中條康朗 氏

農林水産省からは、経営局就農・女性課 久保女性活躍推進室長、関東農政局 石田局長、永嶋次長、坂本企画調整室長、星川地方参事官が出席。

（行政機関、土地改良事業団体連合会、農業者、報道機関等、傍聴 28 名）

4. 内 容

（1）情報提供

- ・農村女性の活躍推進に向けて（経営支援課）鈴木課長
- ・土地改良団体の男女共同参画の推進（土地改良管理課）高嶋農地集団化推進官

（2）意見交換 座長 石田局長

5. 発言要旨

< 石田局長挨拶 >

食料・農業・農村基本計画と同様に男女共同参画基本計画は政府一体となって取組む必要があり、農協や農業委員会と比べ土地改良区は女性の参画が進んでいないのは事実。意思決定における女性の役割、土地改良施設の持続的な維持管理にスポットを当て、いただいた意見を施策の推進に反映していきたい。



＜ 上山副理事長 ＞

女性が入りづらく、手を上げないと役員にはならない状況。土地改良区の事業の理解を得るためには地域住民の理解を得ることが必要であり防災や安全管理の啓発が重要。



＜ 中條専務理事 ＞

現場（施設の操作など）では力がいらず女性が対応できるよう技術が進んでいる。まずは積極的に女性に参加して頂き、活躍する場、活躍する姿を見て頂く必要がある。



＜ 宇田川理事 ＞

男性が当たり前と思う日頃の些細な疑問が問題の解決につながることもあり、女性役員は必要。力がいない施設への整備補修など女性が農業しやすい環境作りが必要。



＜ 坂本室長 ＞

些細な疑問を拾い、地域住民の方々の協力を得て草刈りを楽しくする工夫は女性ならではの。女性の役員が必要ではないか。



前列左から中條専務理事、石川事務局長、上山副理事長、石田局長
宇田川理事、小林総代、永嶋次長
後列左から、鈴木課長、坂本室長、久保室長、星川地方参事官、和山課長、
高嶋農地集団化推進官

＜ 星川地方参事官 ＞

草刈り後にお茶を飲む際など女性の方々が集まる機会を捉え、生活者目線の意見を反映させていく仕組みを考えてはどうか。



＜ 小林総代 ＞

集落の農業者が減少する中、水路の草刈りなどを農家だけでなく地域住民の方にも協力を求め、気持ちよく作業して頂くよう努めている。



＜ 石川事務局長 ＞

女性でも現場を歩くことは大切。大雨などの緊急時、市街地の用水路の近くの住民からの苦情、行政機関への対応などの現場対応は女性にできないことはない。



＜ 久保室長 ＞

同じ家庭で夫婦とも農業者の場合には男性の後押しがないと女性は役員になりづらい。経営の決定権は女性でも経営主が男性というところにハードルがあるかもしれない。



＜ 永嶋次長総括 ＞

女性の得意分野でもある地域のコミュニティの醸成は重要。いずれ来る人手不足に対応できるよう、今のうちから、農業・農村の将来を担う女性が、土地改良区が行う事業の計画や整備する施設の設計などにも関与し、女性の力を発揮していく必要がある。関東農政局として、みなさまの取組を積極的にPRしていきたい。



県農村整備課関係人事異動

(平成29年4月1日付け)

※ () は前職または前所属

【農村整備課】

課長 林 淳一
(大里農林振興センター副所長)
副課長 竹内 正 (農村整備課主幹)
主幹 加藤 和彦
(本庄農林振興センター担当部長)
主幹 西澤徳一郎
(農村整備計画センター担当部長)
主幹 勝俣 孝
(加須農林振興センター担当部長)
主幹 宮下 公成 (都市計画課課付)
主査 山本 善貴 (小児医療センター主査)
主査 川田 哲司
(春日部農林振興センター担当課長)
主査 出口 朱輝
(農村整備計画センター担当課長)

【さいたま農林振興センター】

所長 大図 早孝 (農村整備課長)
農村整備部長 石関 育雄
(本庄農林振興センター農村整備部長)

【川越農林振興センター】

農村整備部長 木村 眞司 (農村整備課主幹)

【東松山農林振興センター】

副所長 福島恵美子
(農業ビジネス支援課副課長)
副所長 稲場 康仁 (土地水政策課副課長)
担当課長 平野 雅之
(川越農林振興センター主任)

【秩父農林振興センター】

所長 強瀬 道男 (農業ビジネス支援課長)
副所長 荻野 英世 (下水道管理課副課長)
副所長 藤田 伸一
(寄居林業事務所森林研究室長)
担当課長 松本 光雄 (農村整備課主査)
担当課長 山中 信孝 (秩父保健所担当課長)

【本庄農林振興センター】

農村整備部長 高橋 伸利
(川越農林振興センター農村整備部長)
担当部長 内田 興治
(春日部農林振興センター担当部長)

【大里農林振興センター】

副所長 鹿沼 浩
(農業技術研究センター副所長)
副所長 細川 学範 (農村整備課副課長)
担当部長 木崎 好和
(加須農林振興センター担当部長)
担当部長 長島 敦 (農村整備課主幹)
担当課長 内野 雅之
(秩父農林振興センター担当課長)
担当課長 上原 弘志
(東松山農林振興センター担当課長)
担当課長 鈴木 岳人
(さいたま農林振興センター担当課長)
担当課長 横塚 聡
(北部地域振興センター担当課長)

【加須農林振興センター】

副所長 有山 達也
(利根地域振興センター副所長)
副所長 田邊 虎男 (生産振興課副課長)
担当部長 中里 靖
(東松山農林振興センター担当部長)
担当部長 穂間 孝明
(農村整備計画センター担当部長)
担当課長 吉澤 幸雄 (春日部保健所担当課長)
担当課長 高山美代子
(大里農林振興センター担当課長)
担当課長 山田起代美 (秘書課主任)

【春日部農林振興センター】

担当部長 山中 勝裕
(大里農林振興センター担当部長)
担当課長 配島 謙 (農村整備課主査)
担当課長 安孫子重俊
(川越農林振興センター担当課長)
担当課長 齋藤 有紀
(さいたま農林振興センター主任)

【農村整備計画センター】

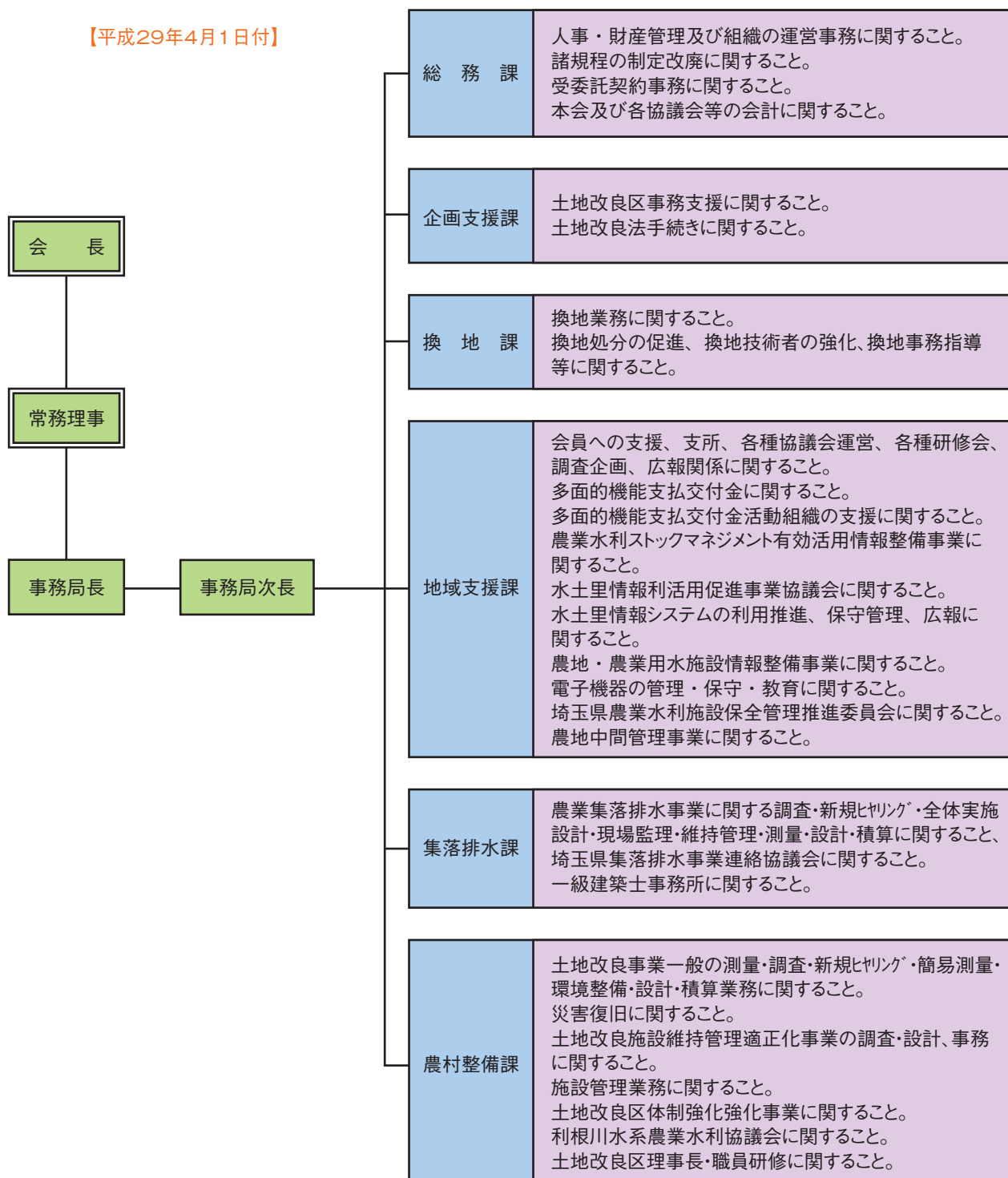
担当部長 森 和義
(大里農林振興センター担当部長)
担当部長 辻村 滋
(農村整備計画センター担当課長)
担当課長 五十川克彦
(大里農林振興センター担当課長)
担当課長 島田 美里
(春日部農林振興センター担当課長)

平成29年度本会機構図及び職員配置図

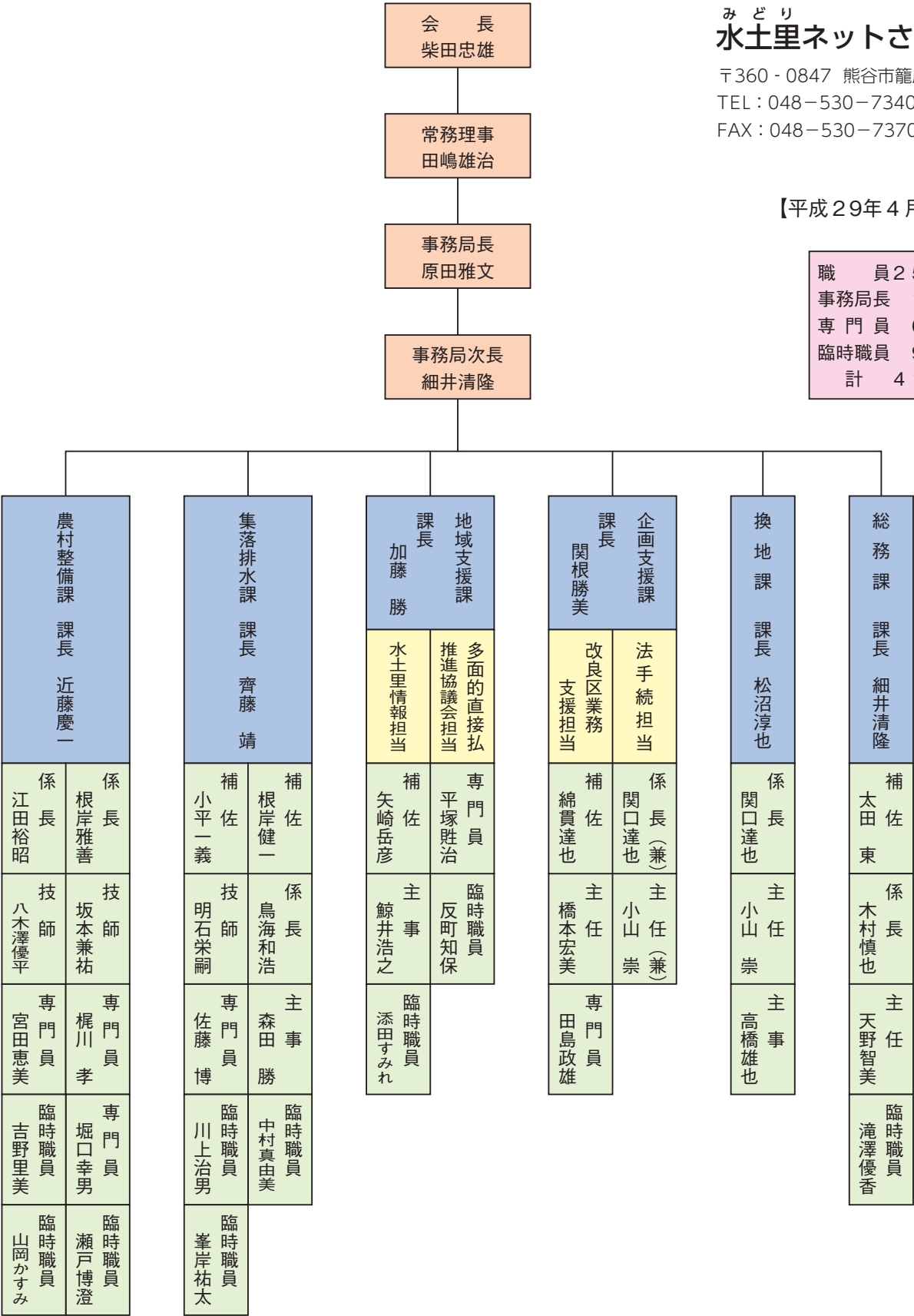
本会では、業務の効率化及び経営体強化を図るため、4月1日付で組織改正を行いました。
会員の皆様に今後ともご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。
平成29年度の本会機構図及び職員配置図は、次のとおりです。

【機構図】

【平成29年4月1日付】



【 職 員 配 置 図 】



みどり
水土里ネットさいたま

〒360 - 0847 熊谷市籠原南2-83
TEL : 048-530-7340 (代表)
FAX : 048-530-7370 (共通)

【平成29年4月1日付】

職 員 2 5 名
事務局長 1 名
専 門 員 6 名
臨時職員 9 名
計 4 1 名

新規職員の紹介



換地課 高橋 雄也

平成29年4月1日付けで新規職員として換地課に配属となりました高橋雄也です。
昨年度の土地改良換地士試験に合格し、新たなスタートへ向けて一つの区切りをつけたのかなど安堵しています。
今年度からは、正規職員として、また土地改良換地士としてこれまでより一層責任感を持って業務に臨みたいと思います。
経験も知識もまだまだ未熟ではありますが、一日でも早く一人前になれるよう、これから多くのことを吸収していきたいと思いますので、今後ともご指導よろしくお願いします。

農業基盤整備資金の金利改定について

財政融資資金金利等の改正に伴い、株式会社日本政策金融公庫の貸付金利が、下記のとおり4月19日付けで改定されました。
(単位:%)

区 分	改 訂 前					改 訂 後				
	融資期間にかかわらず	融資期間別(一例)				融資期間にかかわらず	融資期間別(一例)			
		5年	10年	15年	20年		5年	10年	15年	20年
都道府県営補助残	0.45	—	—	—	—	0.45	—	—	—	—
団 体 営 補 助 残	0.30	—	—	—	—	0.30	—	—	—	—
非 補 助 一 般	0.30	—	—	—	—	0.30	—	—	—	—
非補助利子軽減	0.30	—	—	—	—	0.30	—	—	—	—
災 害 復 旧	—	0.20	0.20	0.25	0.30	—	0.16	0.16	0.25	0.30

連合会日誌

開 催 日	会 議 ・ 行 事	開 催 地
1月	12日 都道府県土地改良事業団体連合会長・事務責任者合同会議	東 京 都
	16日 知事と農林水産業団体長との懇談会	さ い た ま 市
	18日 加須土地改良推進協議会事業視察研修会	神 奈 川 県
	23日～26日 会計指導員育成研修会	東 京 都
2月	27日 大里土地改良推進協議会事業視察研修会	栃 木 県
	2日 本会第2回監査及び第4回監事会	熊 谷 市
	10日 埼玉県土地改良県営部会現地視察研修会	福 島 県
	17日 関東農地集団化推進協議会第3回幹事会	東 京 都
	17日 関東ブロック土地改良換地士部会連絡協議会第3回役員会	東 京 都
	17日 利根川水系農業水利協議会勉強会	さ い た ま 市
	17日 埼玉県農道推進協議会・水環境保全整備推進協議会合同視察研修会	神 奈 川 県
	23日 全国換地処分促進研修会	東 京 都
3月	24日 都道府県土地連事務責任者会議	東 京 都
	1日 土地改良区理事・監事・職員及び市町村担当職員等研修会	鴻 巣 市
	7日 本会第5回監事会及び第4回理事会	熊 谷 市
	21日 本会第60回通常総会	さ い た ま 市
	24日 全国水土里ネット総会及び表彰式	東 京 都
4月	31日 本会平成28年度仕事納め式	熊 谷 市
	1日 本会平成28年度仕事始め式	熊 谷 市

第5回 彩の国 農業・農村景観フォトコンテスト

※豊かな自然環境や美しい農村環境など、埼玉県内の農業、農村の魅力を伝える写真を募集します。

募集テーマ 『さいたまの水土里豊かな風景』

募集期間

2017年4月17日(月)～2017年10月20日(金) ※当日消印有効

募集期間

埼玉県内の平成28年以降に撮影された未発表の作品で、応募者本人が撮影し使用権を含む著作権を有しているものに限りです。

- 応募資格 どなたでもご応募できます。
- 応募サイズ 四つ切りまたはワイド四つ切り
- 撮影方法 デジタル・ネガフィルム ※画像の加工は不可。
- 応募数 1人3点以内

同一作品の他の写真コンテストへ応募・入選作品は応募できません。

各 賞

水土里ネットさいたま会長賞	1点(商品券3万円分)
さいたま土地改良推進協議会会長賞	1点(商品券1万円分)
川越土地改良推進協議会会長賞	1点(商品券1万円分)
東松山土地改良推進協議会会長賞	1点(商品券1万円分)
秩父土地改良推進協議会会長賞	1点(商品券1万円分)
本庄土地改良推進協議会会長賞	1点(商品券1万円分)
大里土地改良推進協議会会長賞	1点(商品券1万円分)
加須土地改良推進協議会会長賞	1点(商品券1万円分)
春日部土地改良推進協議会会長賞	1点(商品券1万円分)

入 選 10点以内

参加賞 応募者全員に粗品進呈

審査・入賞作品発表

12月中旬に審査発表を行う予定です。

入賞者本人に直接連絡するほか、本会ホームページ等で発表します。

お問合せ先

埼玉県土地改良事業団体連合会 地域支援課
TEL 048-530-7352 URL <http://www.saidoren.or.jp>

応募先

〒360-0847 熊谷市籠原南二丁目83番地
埼玉県土地改良事業団体連合会 地域支援課 「彩の国 農業・農村景観フォトコンテスト係」



水土里ネットさいたま
埼玉県土地改良事業団体連合会

〒360-0874 熊谷市籠原南二丁目83番地
TEL 048(530)7340 FAX 048(530)7370

<http://www.saidoren.or.jp/>

